

# デッキバックD 施工手順

## フェンスなし

### はじめに

- ・この「施工手順」は施工者の方のために標準的な施工手順をまとめたものです。
- ・現場の状況や条件等によって、手順が変わる場合がありますのでご注意ください。

### 部材の確認

部材の梱包を解く前に、『内容詳細』と照らし合わせて必要な部材がそろっていることを確認してください。

### 必要な道具

- ・メジャー、直角定規（曲尺）
- ・水糸
- ・水平器（レベル）： 長さ900mm程度の  
ものがあると効率的です
- ・インパクトドライバー  
プラスドライバー（長・短）  
キリΦ3
- ・電動のこぎり（丸ノコ）
- ・スパナ（19mm）
- ・万力（クランプ）
- ・サンドペーパー（＃40）
- ・ウェス、清掃用具等

### オプション品…後付け可能

- ・束カバー
  - ・ステップ
- 必要に応じてご購入下さい

### 別途調達部材…現場の状況に応じた下地用の部材及び道具

- ・束下地用：コンクリート平板、束石、砕石、スコップなど
- ・束固定用：コンクリートビス、束固定用接着剤など

### 施工上の注意事項

- ・デッキ材等の部材はたてかけたまま保管せず、平積みして下さい。
- ・ビス、ナット、固定具等の締め付け部品は『施工手順』に従った位置、数量を守り、十分に締め付けて下さい。
- ・製品に火気を近づけると変形や火災の恐れがありますので、火気や熱を発生する道具類の使用は厳禁です。
- ・デッキ上に重量物を置く場合は敷き板などを使って荷重が分散するようにして下さい。
- ・製品に有機溶剤、洗剤等が付着したままにしておくと、シミなどの原因となりますので、すぐに拭き取って下さい。
- ・ドリルビス使用時に「切り粉」が飛散しますので、清掃を徹底して下さい。
- ・万が一、デッキ面に小さな傷などが付いた場合はサンドペーパー（＃40程度）でこすると目立たなくなります。

使用部材

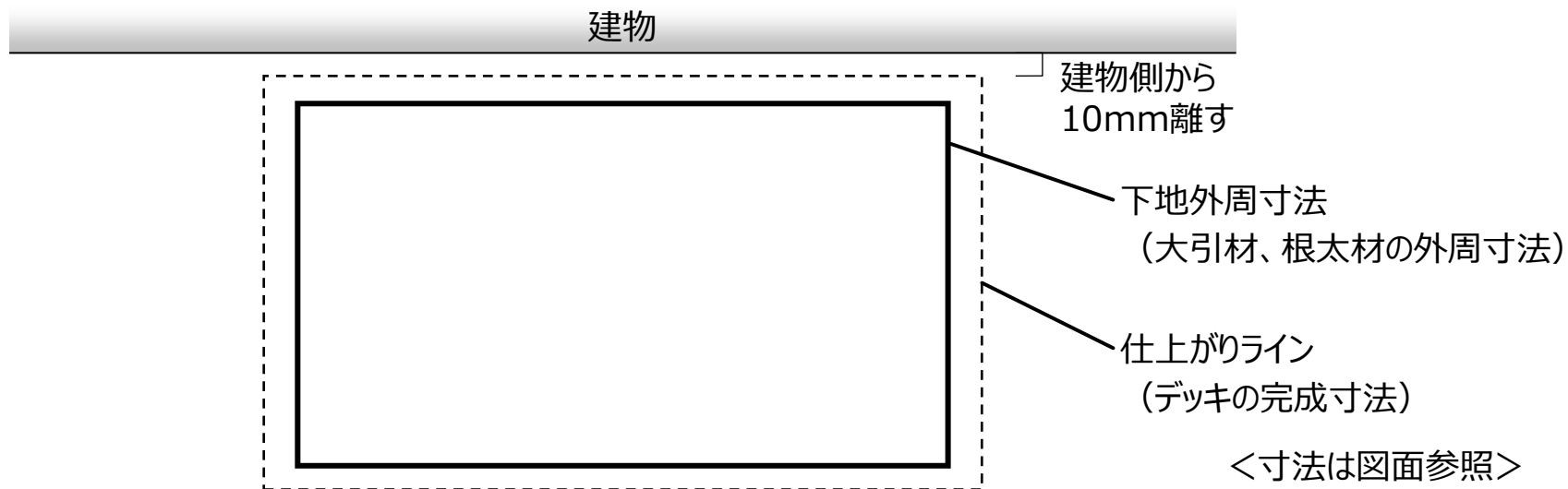
使用部材

| 梱包                    | 部材名称       |
|-----------------------|------------|
| 〇 3                   | 鋼製束大 2 7 8 |
| 〇 4<br>＜DDデッキユニット部品箱＞ | 角度調整プレート   |

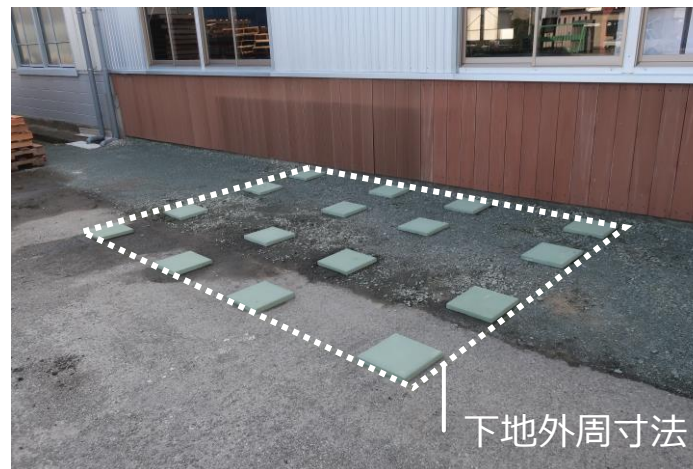
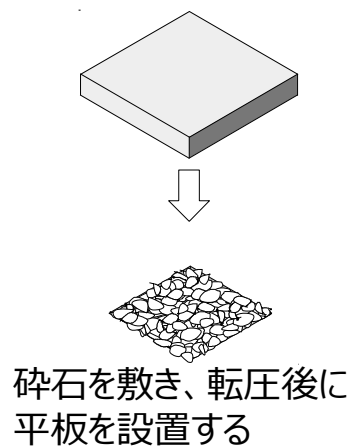
納入部材は必要部材のみとなります。  
 サイズによっては上記部材の一部が含まれない  
 場合がありますが、施工上問題ありません。

### 下地外周寸法を位置出し・下地準備（寸法・配置は図面参照）

デッキを設置する土間コンクリート、コンクリート平板等は水平を出しておいてください。



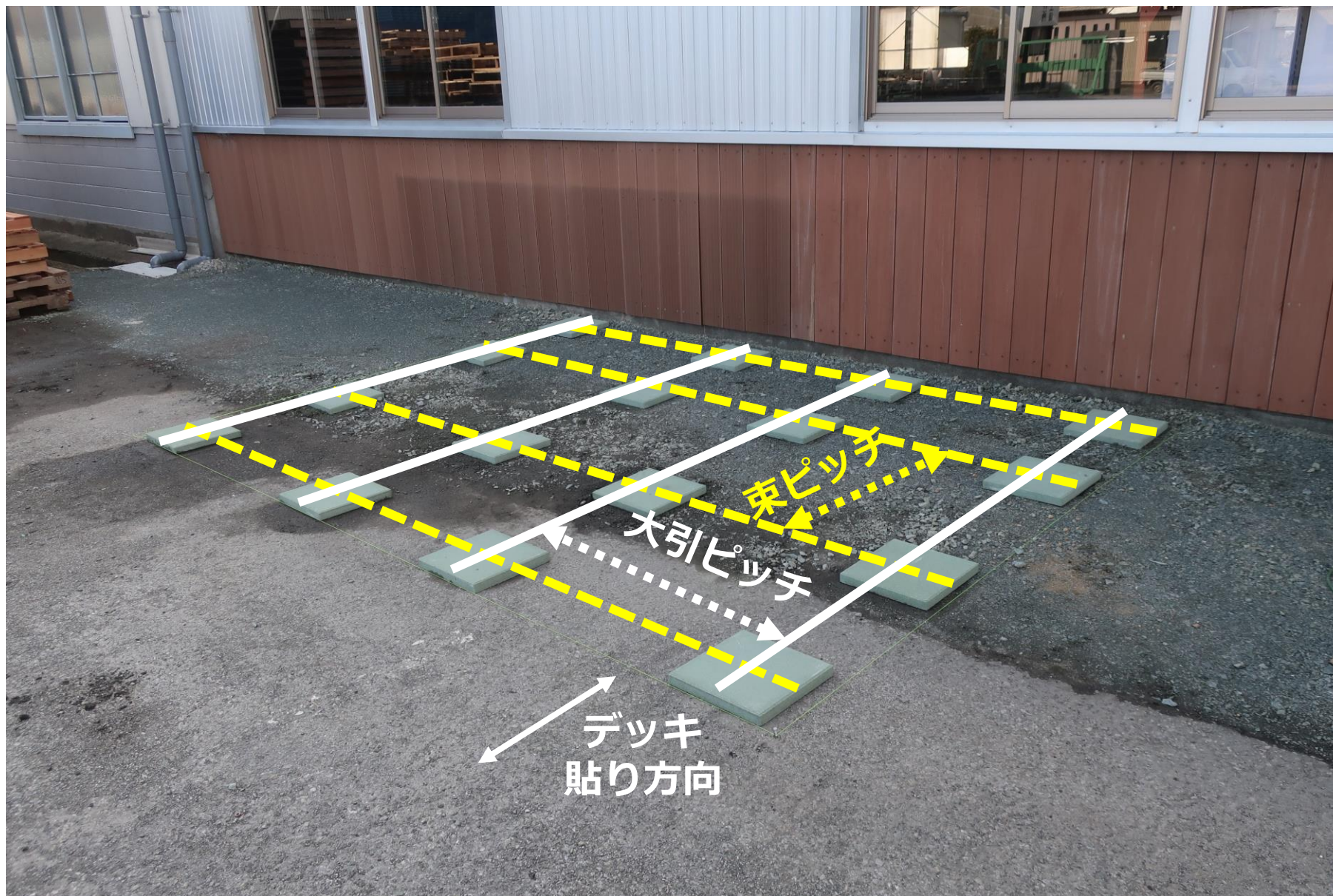
### コンクリート平板を使用する場合



<配置は図面参照>

## 束位置の墨出し

配置図を確認し、束位置の墨出しを行います。



## 束の水平を確認

上ナットを固定し、束上プレートの水平を確認します。角度調整プレートを使用すると便利です。



### 束を固定

水平を確認しながら束を固定します。（コンクリートビス、接着剤等）

#### 接着剤固定



束ベースプレート裏に接着剤を約25g塗布します。（写真参照）



束ベースプレートの穴から接着剤が飛び出すように、圧着接着します。

#### コンクリートビス固定



ビス固定位置にきりで下穴をあけます。（Φ4.3）



コンクリートビスで対角に2本固定します。

#### 接着剤、コンクリートビス併用



ビス固定位置にきりで下穴をあけます。（Φ4.3）



束ベースプレート裏に接着剤を約25g塗布します。（写真参照）



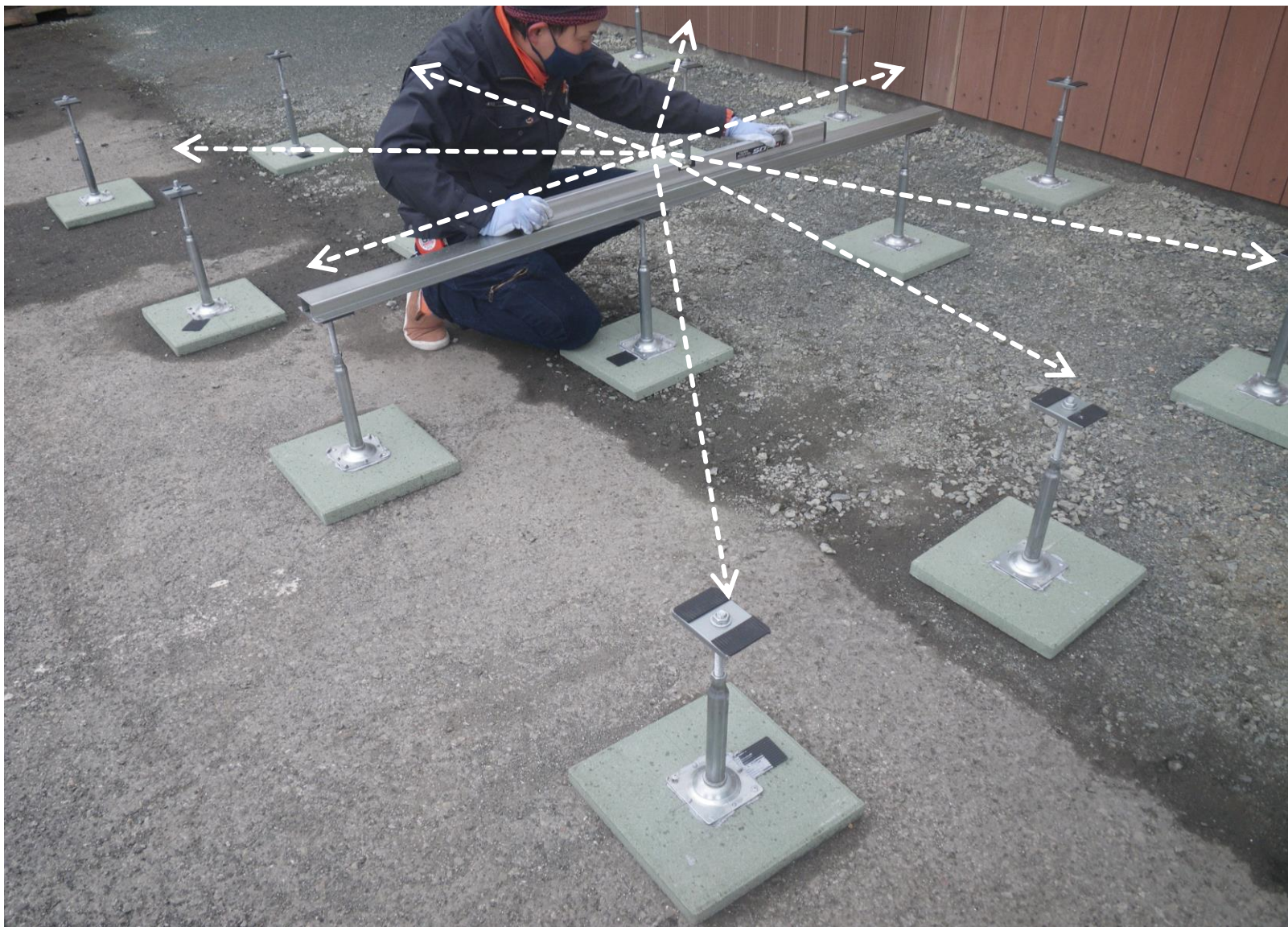
束ベースプレートの穴から接着剤が飛び出すように、圧着接着します。



コンクリートビスで対角に2本固定します。

## 束高さの調整

束の水平を見ながら束高さを調整します。放射状に水平確認すると、確実な調整が可能です。  
写真の様に【O 2】大引材L1800と水平器を併用すればスムーズに水平確認が可能です。



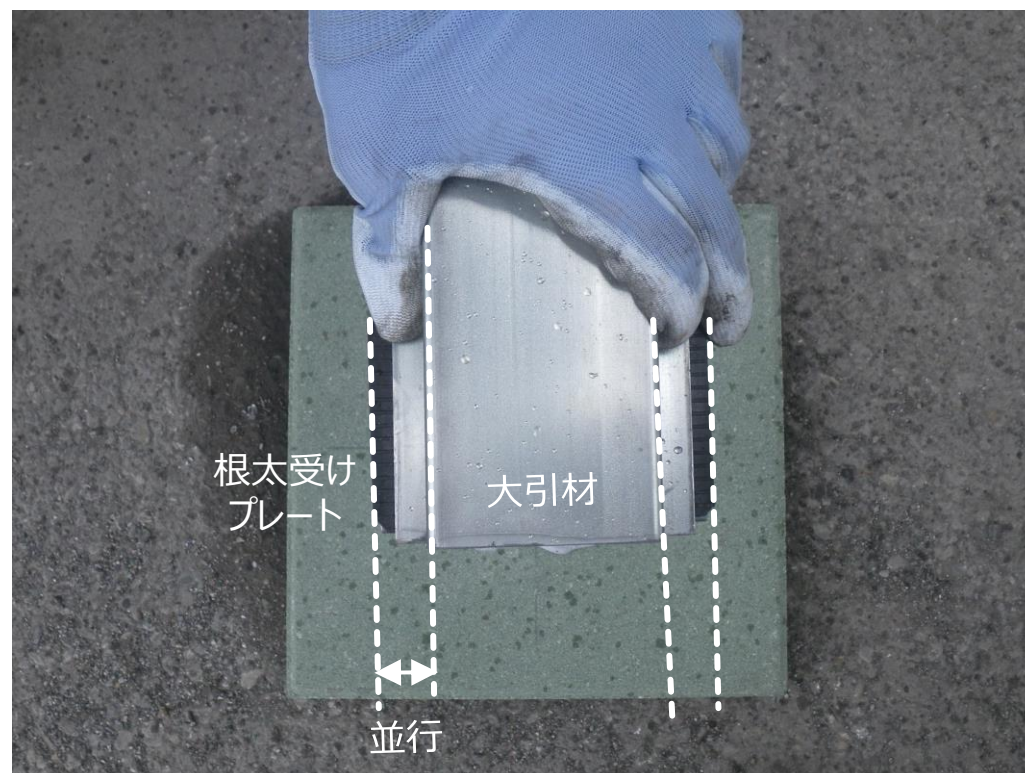
## 束ボルトを固定

高さ、水平を確認した束のナット3ヶ所（下写真○部分）を固定します。

下ナットで高さ（デッキ仕上高-97mm）を決めてしっかりと固定



※根太受けプレートは大引材と並行にする

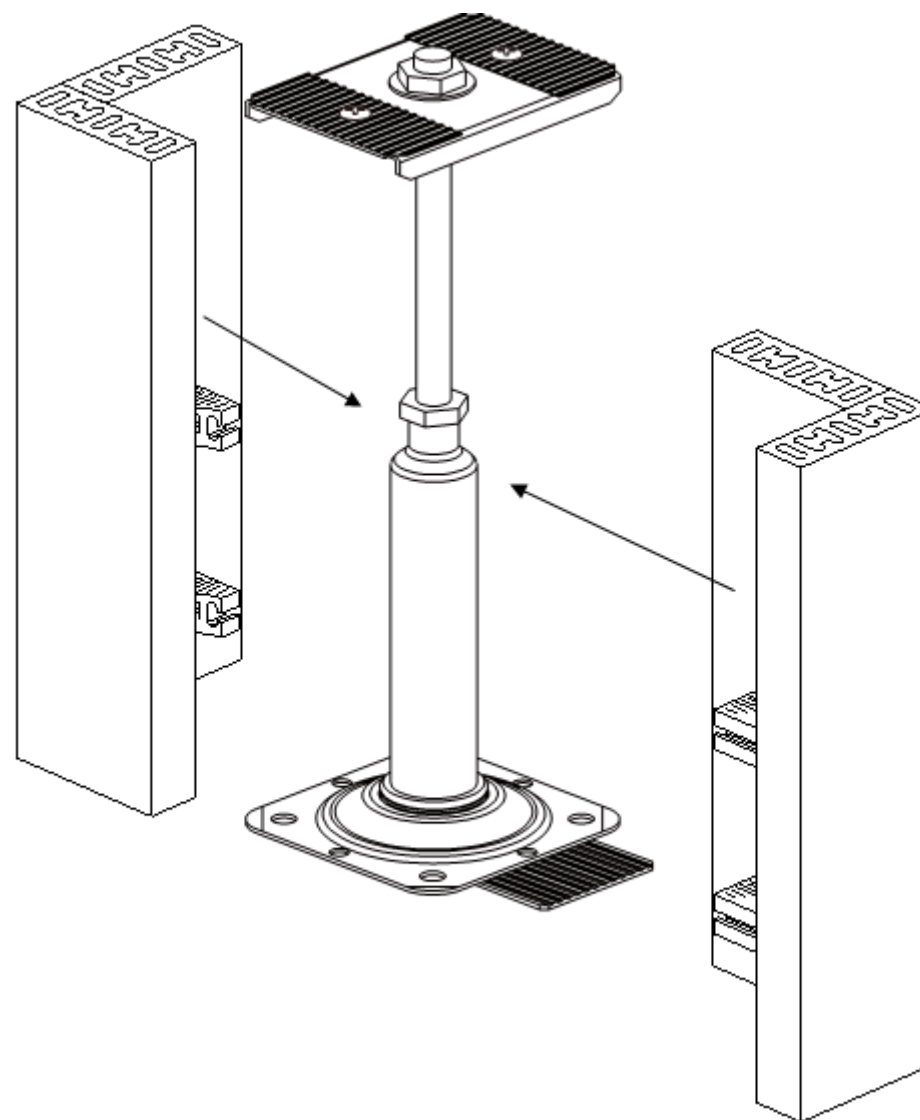
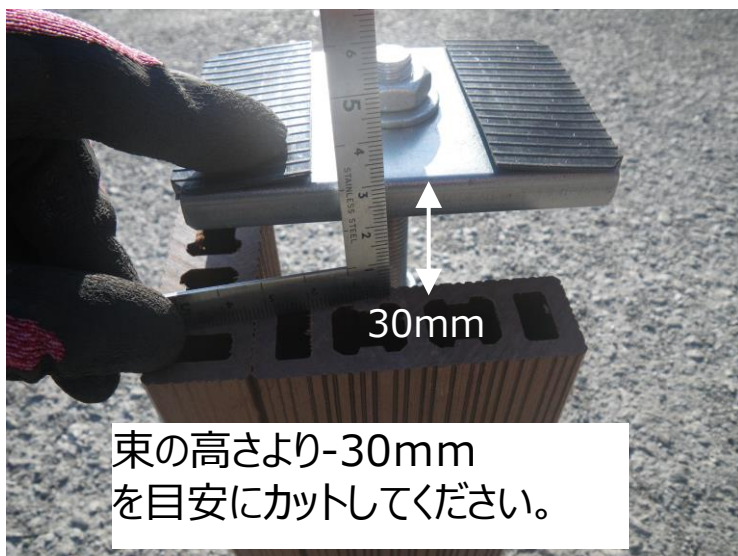
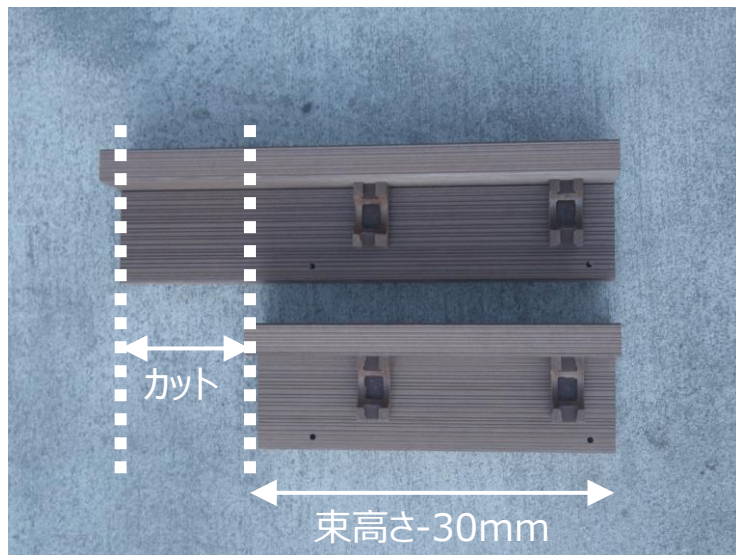


束施工完了



## オプション・束カーバ設置

束高さに合わせて束カバーをカットし、カバーする束の周りに置いて付属のバンノウビス4.2×62で固定します。



使用部材

使用部材

| 梱包                    | 部材名称               |
|-----------------------|--------------------|
| 0 1 ～ 0 2             | アイハット鋼             |
| 0 5<br>＜DDデッキユニット部品箱＞ | ナベテクス 5 × 1 6 シルバー |

納入部材は必要部材のみとなります。  
 サイズによっては上記部材の一部が含まれない  
 場合がありますが、施工上問題ありません。

## 大引材設置

配置図を確認し、すべての大引材を束の上に乘せ、大引の水平及び高さを確認します。



## 大引材跳ね出し寸法確定

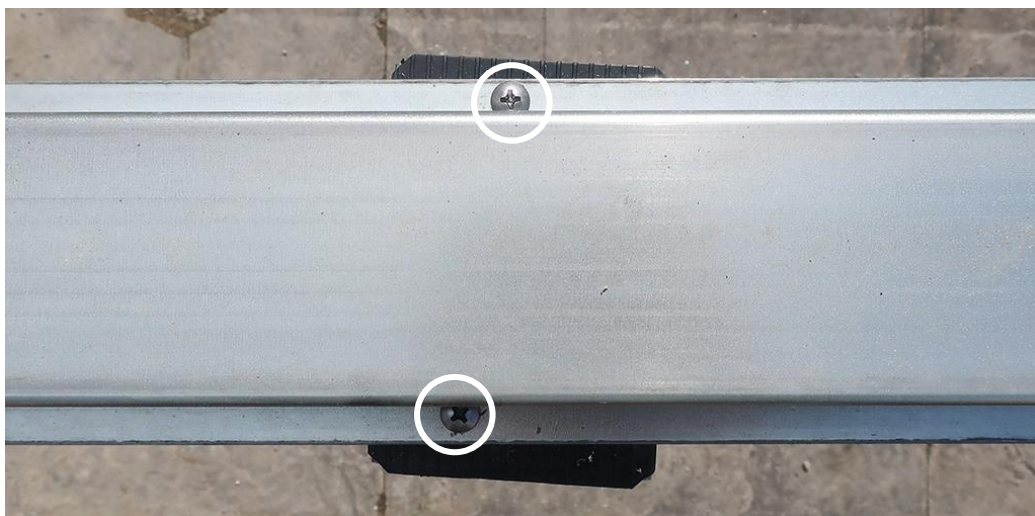
下地外周から垂直に立ち上げ、基準となる大引材の跳ね出し寸法を確定させます。



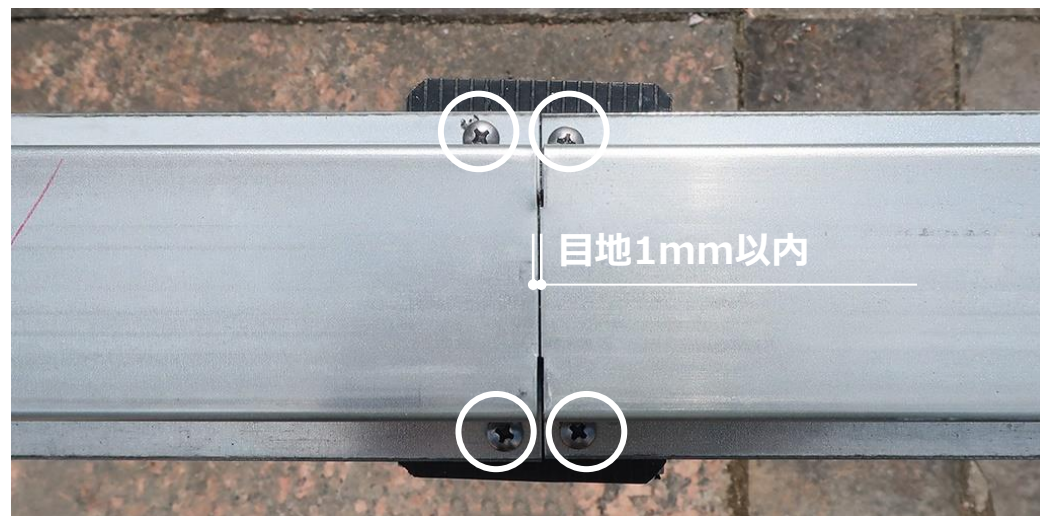
## 大引と束を固定

【O5】ナベテクス5×16を使用し、大引材を束に固定します。

通常部：ビス2本



大引ジョイント部：ビス4本



大引施工完了



使用部材

使用部材

| 梱包                     | 部材名称               |
|------------------------|--------------------|
| N 1 ～ N 4              | アイハット鋼             |
| O 5<br>＜D Dデッキユニット部品箱＞ | ナベテクス 5 × 1 6 シルバー |

納入部材は必要部材のみとなります。  
 サイズによっては上記部材の一部が含まれない  
 場合がありますが、施工上問題ありません。

## 根太位置の墨出し

配置図を確認し、根太位置の墨出しを行います。



## 根太材設置

配置図を確認し、すべての根太材を大引の上に乗せ、根太の水平を確認します。



## 根太材跳ね出し寸法確定

下地外周から垂直に立ち上げ、基準となる根太材の跳ね出し寸法を確定させます。



## 根太と大引を固定

ナベテクス5×16を使用し、建物と反対側からの根太ピッチ累計寸法確認しながら、根太を大引に固定します。

通常部：ビス2本



根太ジョイント部：ビス4本



根太施工完了



## 使用部材

## 使用部材

| 梱包                       | 部材名称                        |
|--------------------------|-----------------------------|
| M 1 ～ M 6                | 幕板材25×145閉                  |
| M 7                      | 幕板受下地 L=103                 |
| M 8                      | 幕板受下地 L=103 下穴なし<br>(建物側専用) |
| M 9<br>＜D Dデッキユニット部品箱＞   | サラテクス 5×45 ブロンズ             |
| M 1 0<br>＜D Dデッキユニット部品箱＞ | ナベテクス 5×16 シルバー             |
| M 1 1<br>＜D Dデッキユニット部品箱＞ | ナベテクス 5×70 シルバー             |

納入部材は必要部材のみとなります。  
サイズによっては上記部材の一部が含まれない  
場合がありますが、施工上問題ありません。

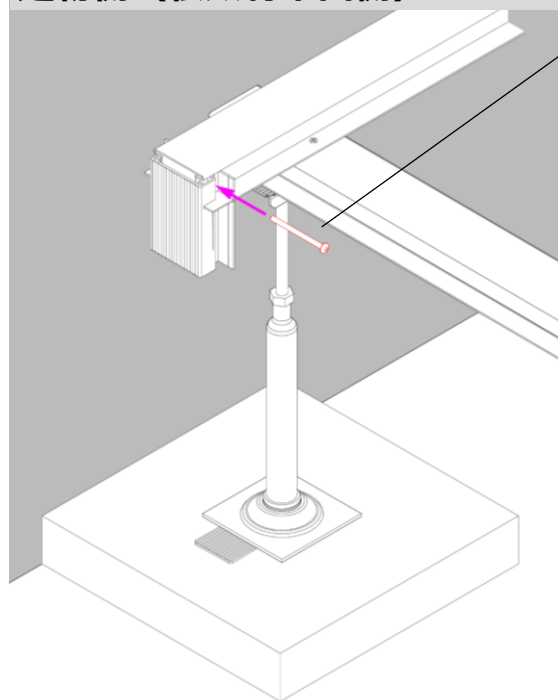
## 幕板受下地を固定

配置図を確認し、幕板受下地は写真のように、『デッキ張り始めの出幅側』と『間口側』の2辺のみ固定します。

※『デッキ張り終わりの出幅側』はデッキ張り終わり時に位置を出して固定します。



建物側（根太材木口側）



**M 1 1**

ナベテックス  
5×70 シルバー

建物側等隣接壁があって  
幕板受下地を固定できない  
箇所は  
【M 1 1】ナベテックス5×70  
を使用し、固定します。



左記写真の様に、  
幕板受下地の垂直を確認しながら根太材にビス  
固定します。

デッキ木端側（根太材木口側）



**M 1 0**

ナベテックス  
5×16 シルバー

デッキ木口側（根太材木端側）



**M 1 0**

ナベテックス  
5×16 シルバー

## 幕板固定

配置図を確認し、幕板材を幕板受下地にビス固定します。間口の幕板がデッキ材設置の際のガイドとなります。



## 使用部材

## 使用部材

| 梱包                      | 部材名称                        |
|-------------------------|-----------------------------|
| D 1 ～ D 8               | デッキ材25×145開                 |
| D 9<br>＜DDデッキユニット部品箱＞   | ワイドQ C S                    |
| D 1 0<br>＜DDデッキユニット部品箱＞ | サラテクス 5×45 ブロンズ             |
| M 1 ～ M 6               | 幕板材25×145閉                  |
| M 7                     | 幕板受下地 L=103                 |
| M 8                     | 幕板受下地 L=103 下穴なし<br>(建物側専用) |
| M 9<br>＜DDデッキユニット部品箱＞   | サラテクス 5×45 ブロンズ             |
| M 1 0<br>＜DDデッキユニット部品箱＞ | ナベテクス 5×16 シルバー             |
| M 1 1<br>＜DDデッキユニット部品箱＞ | ナベテクス 5×70 シルバー             |

納入部材は必要部材のみとなります。  
サイズによっては上記部材の一部が含まれない  
場合がありますが、施工上問題ありません。

### デッキ材・ワイドQCS仮置き

配置図を確認し、デッキ材を6列ずつ仮置きしていきます。ここではまだワイドQCSのビスの固定はしません。

ワイドQCSをデッキ材側面溝に差し込みます。

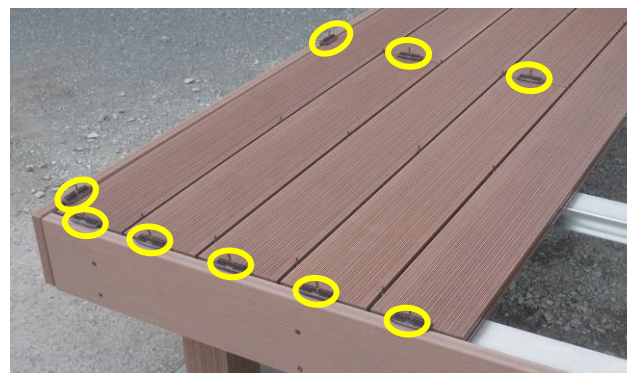


次のデッキ材を差し込みます。



デッキ木端間目地はデッキ材側面溝にワイドQCSを差し込むことにより5mm確保されます。

幕板との間の目地、デッキ材ジョイント間目地は、ワイドQCSを差し込むと簡単に確保可能です。（デッキ木端間目地：5mm）



#### <ポイント>

矢じり側を差し込むと  
脱落しにくいです。



### デッキ材・ワイドQCS仮設置

6列仮置きしたら寸法、ワイドQCSが根太上にあることを確認し、「2番ビット細目」を使用してビスを固定します。

| デッキ枚数 | 幕板からの寸法              |
|-------|----------------------|
| 6列目   | 9 2 5 ~ 9 2 7 mm     |
| 12列目  | 1 8 2 5 ~ 1 8 3 0 mm |
| 18列目  | 2 7 2 5 ~ 2 7 3 2 mm |
| 24列目  | 3 6 2 5 ~ 3 6 3 5 mm |
| 30列目  | 4 5 2 5 ~ 4 5 3 7 mm |
| 36列目  | 5 4 2 5 ~ 5 4 4 0 mm |

計測寸法が大きい場合は、デッキ材をしっかりと詰めます。  
計測寸法が小さい場合はデッキをバラつかせます。



その後、6列ずつ仮置き、固定の手順を繰り返していきます。張り終わりのデッキ材は固定しないようにしてください。

※【M 7・M 8】幕板受下地の固定ができなくなります。



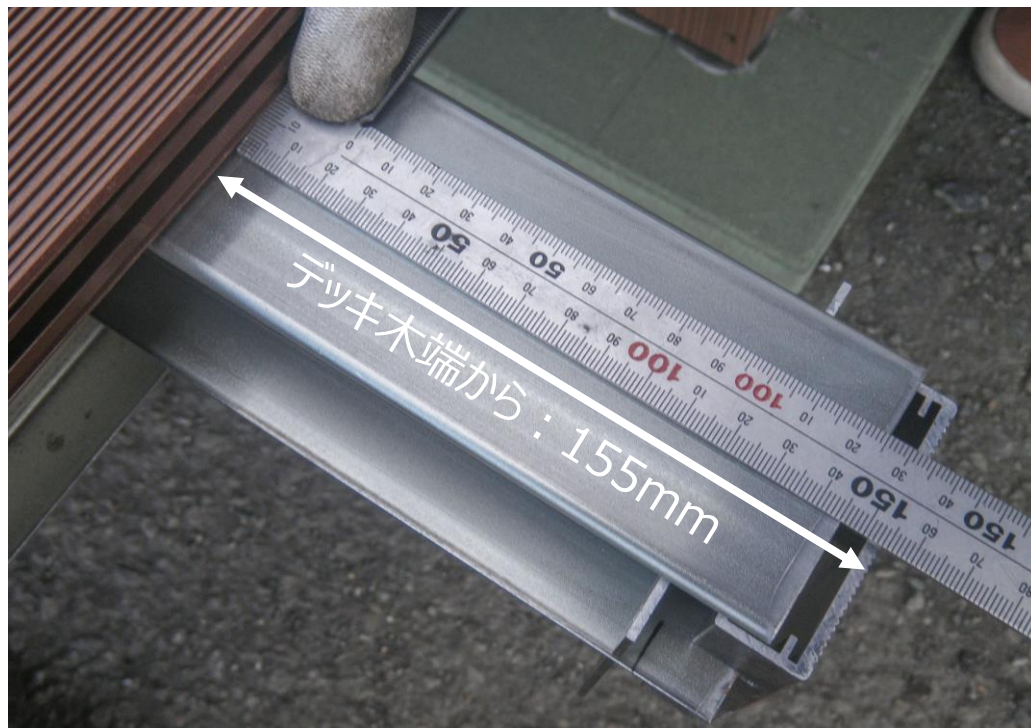
## 幕板墨出し、切断

デッキが貼り伸びる事を想定し、最後の幕板は想定寸法より長くしております。  
張り終わりのデッキ材を固定していない状態で、デッキ材木端に合わせて幕板に墨出しし、幕板を取り外した上で切断します。  
※幕板の再固定はまだ行いません。



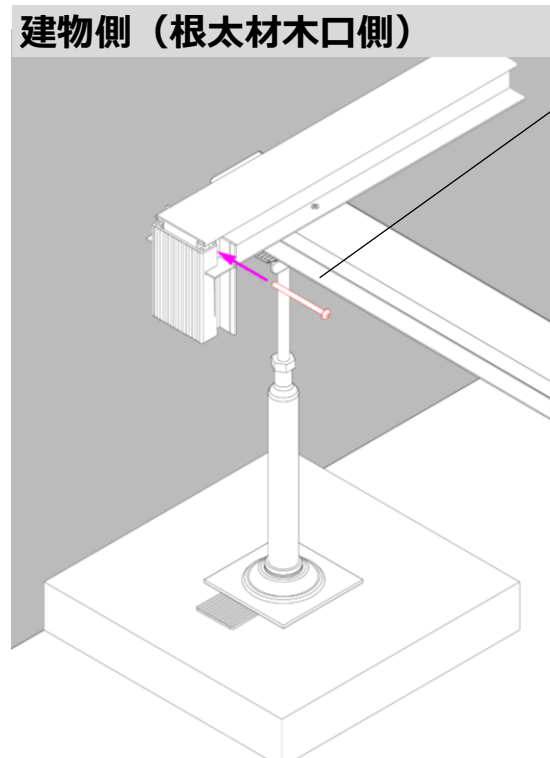
## 幕板受下地固定

29ページで切断した幕板は再固定せずに、幕板受下地が設置されていない箇所に幕板受下地を固定してきます。



左記写真の様に、幕板受下地の垂直を確認しながら根太材にビス固定します。

### 建物側（根太材木口側）



**M11**

ナベテクス  
5×70 シルバー

建物側等隣接壁があって幕板受下地を固定できない箇所は【M11】ナベテクス5×70を使用し、固定します。

### デッキ木端側（根太材木口側）



**M10**

ナベテクス  
5×16 シルバー

## 幕板固定

墨出し、切断した幕板と、デッキ木端側の幕板を固定して、デッキは完成です。



## ステップ°（オプション）

目安：デッキ高さの1/2程度にカット

